

タブレットで探偵になる

ー 見立てのための支援技術 ー

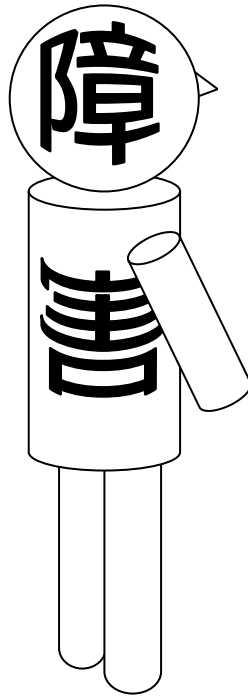
岡 耕平 Ph.D

滋慶医療科学大学院大学

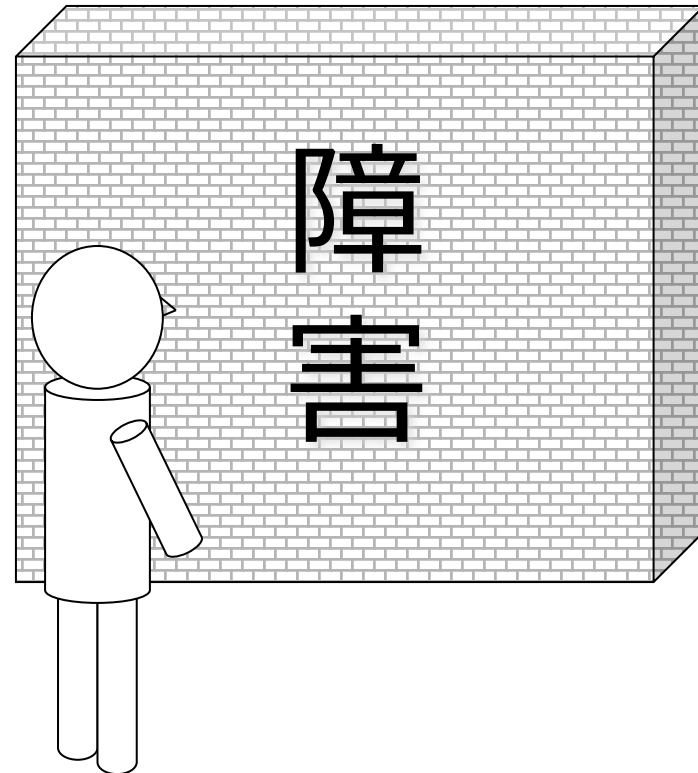
k-oka@ghsj.ac.jp

障害はどこにあるのか？

医療モデル障害観
ICIDH(WHO,1980)



社会モデル障害観
ICF(WHO,2001)

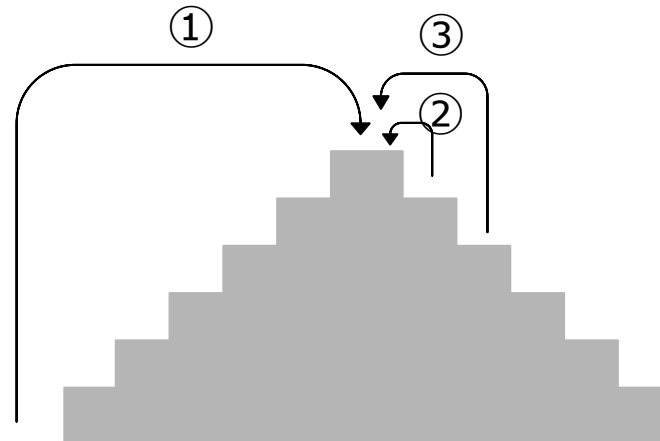
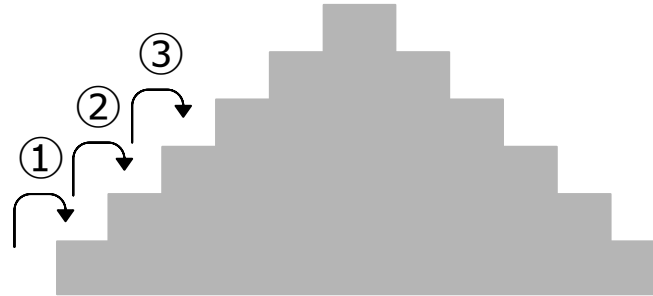


「壁」の越え方はいくつもある

- よじ登る（訓練する）
- 壊す（ルールを変える）
- 回避する（代替手段）
- 持ち上げてもらおう（力を借りる）
- 越えずに済みます（価値観を変える）

壁をクリアするためには、
環境を人に合わせる観点が重要

2つのスモールステップ

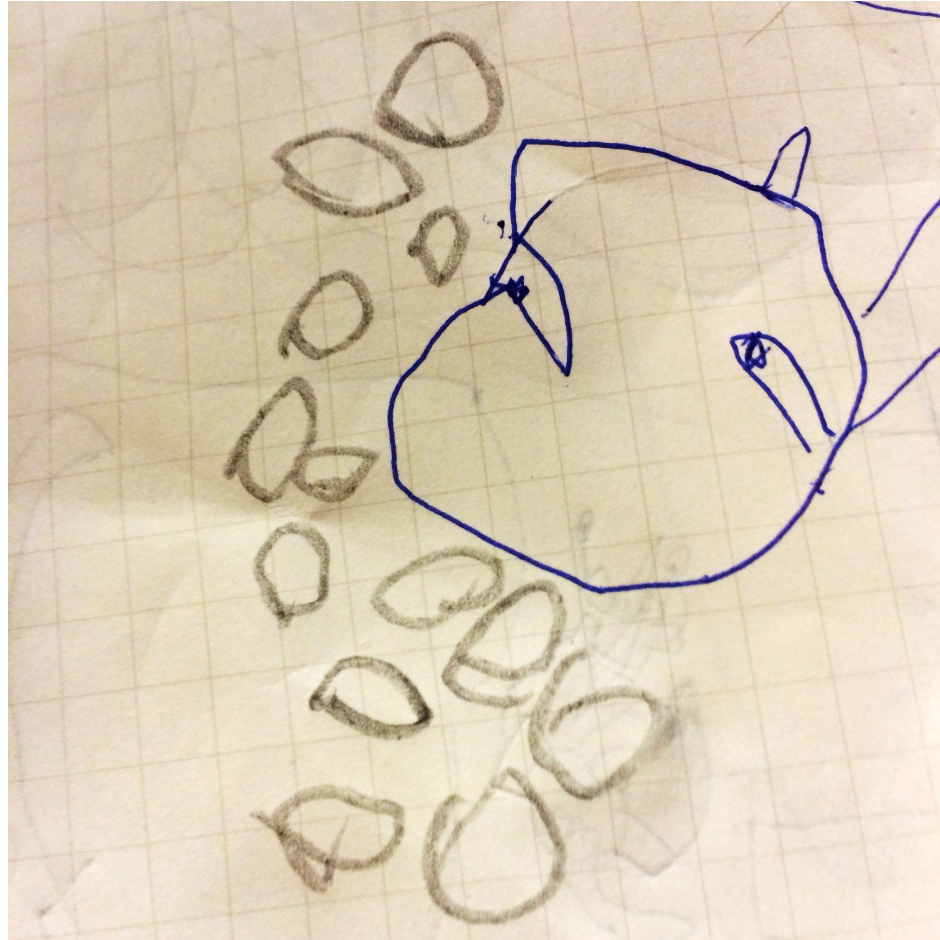


先にゴールを体験することが重要. そのために技術を使う.

タブレット端末を使う難しさ

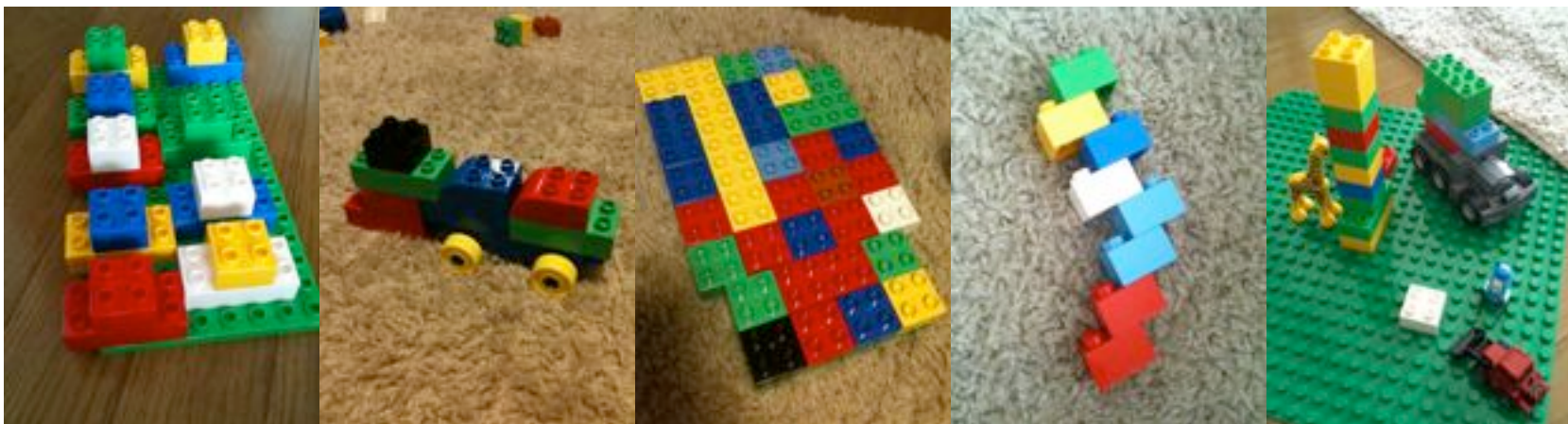
- タブレットを使う理由を示すことが難しい
- 基本的な機能を使いこなせていない場合がある
- 使ったことの効果に関する評価が難しい
- 子どもの問題が明らかになりにくい

いつ誰がどういう状況で何をしたのか

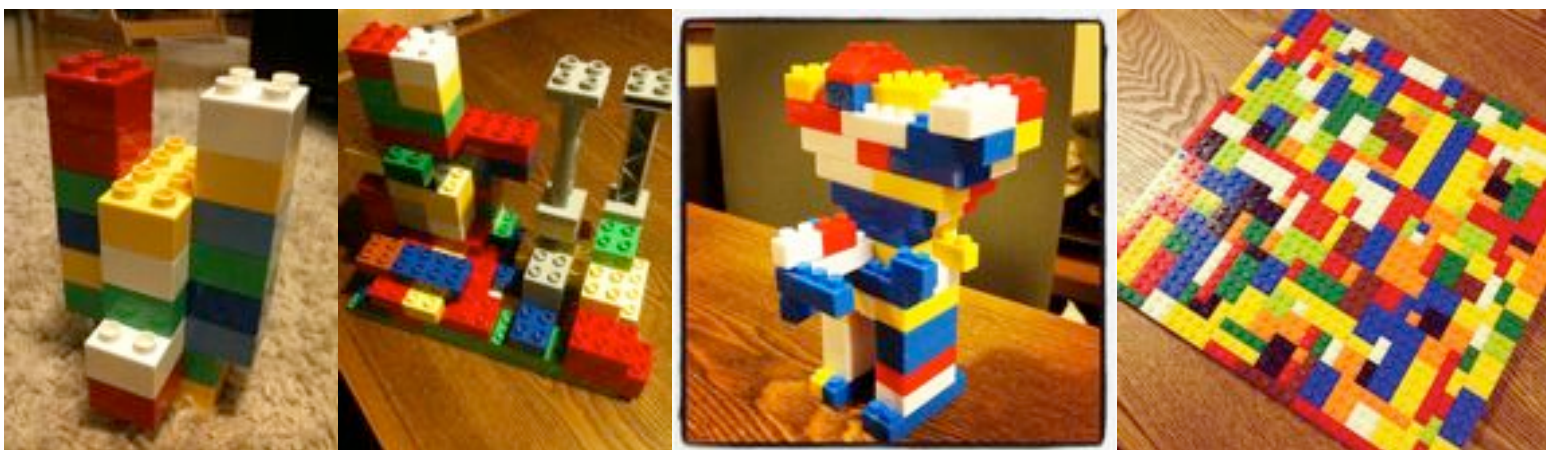


「4歳児が描いた蜂の巣」という情報があるだけで…

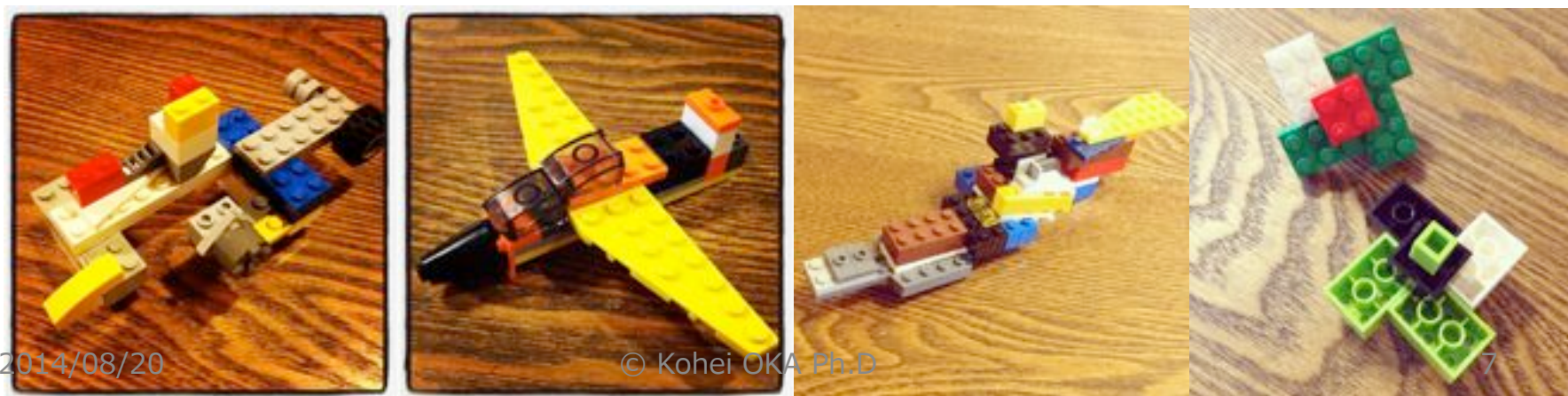
[1]



[2]



[3]

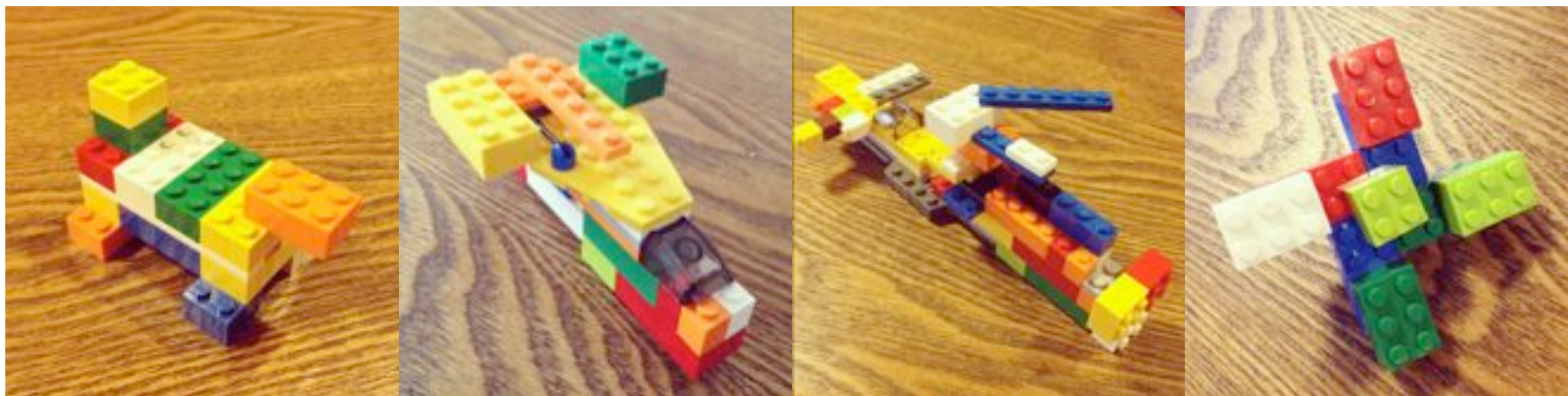


2014/08/20

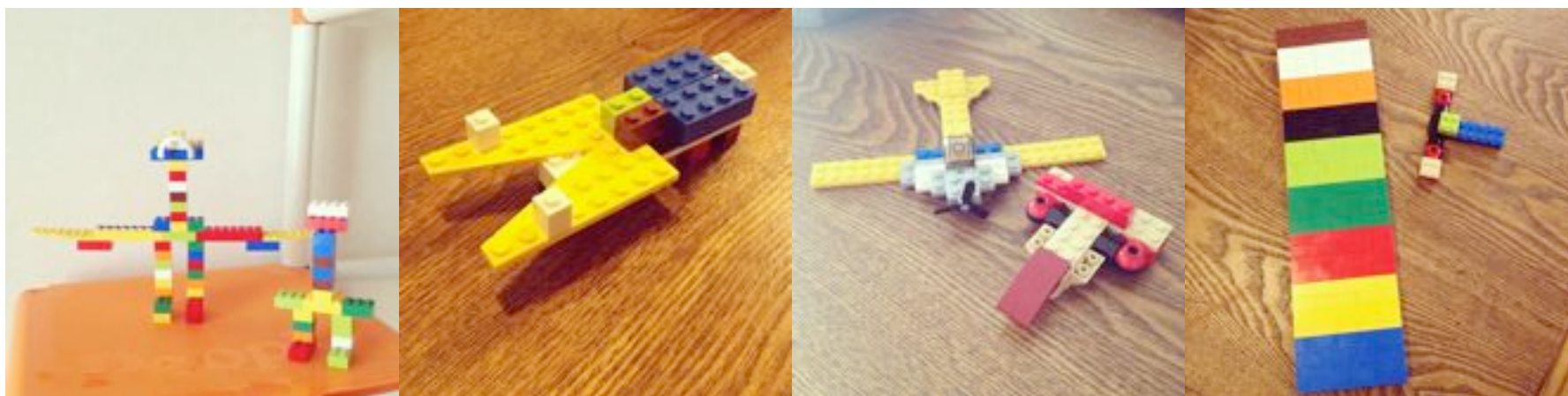
© Kohei OKA Ph.D

7

[4]



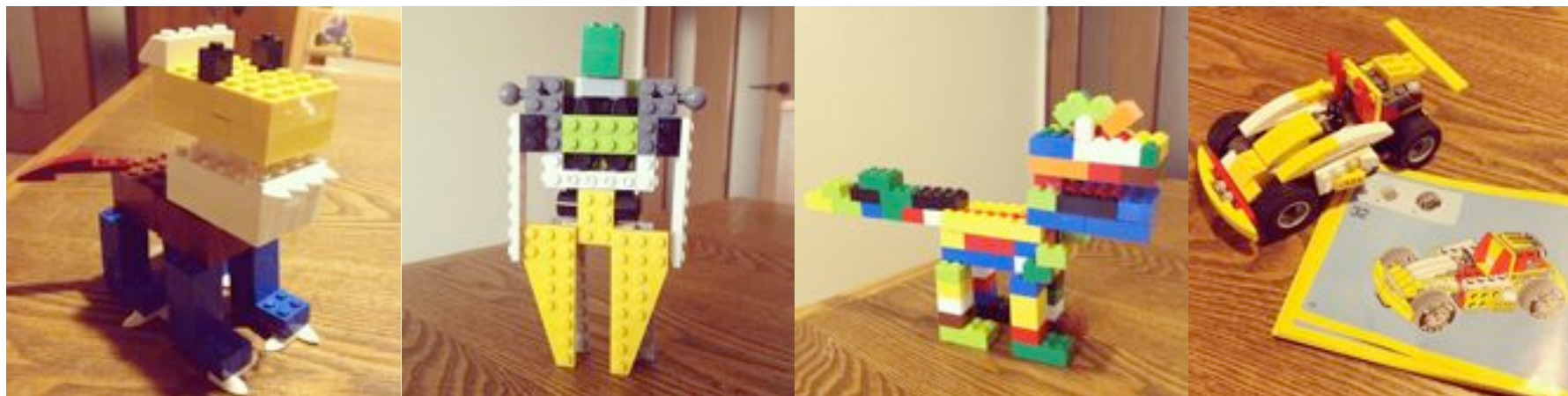
[5]



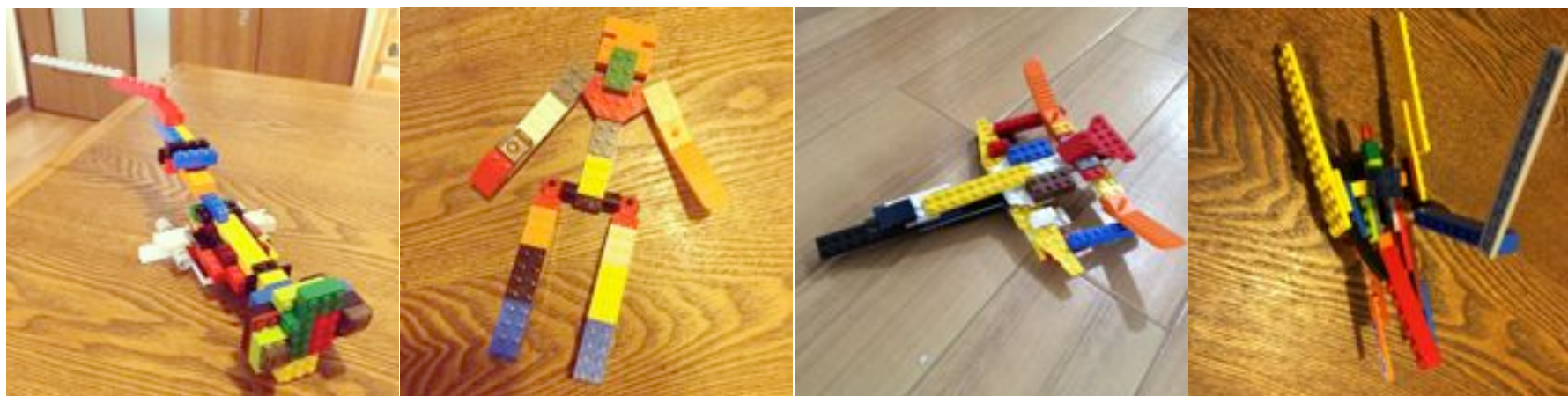
[6]



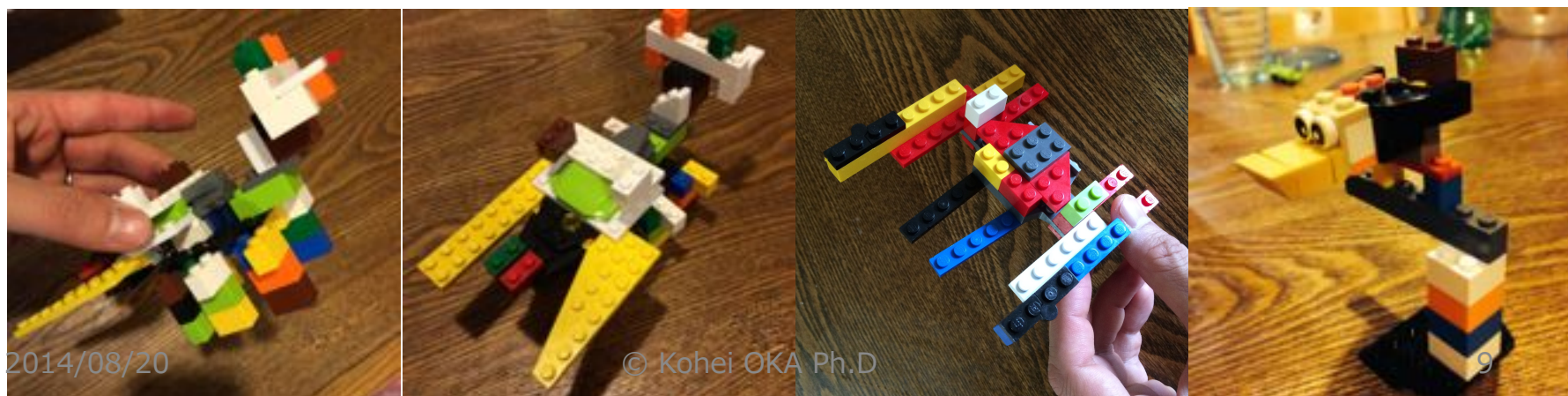
[7]



[8]



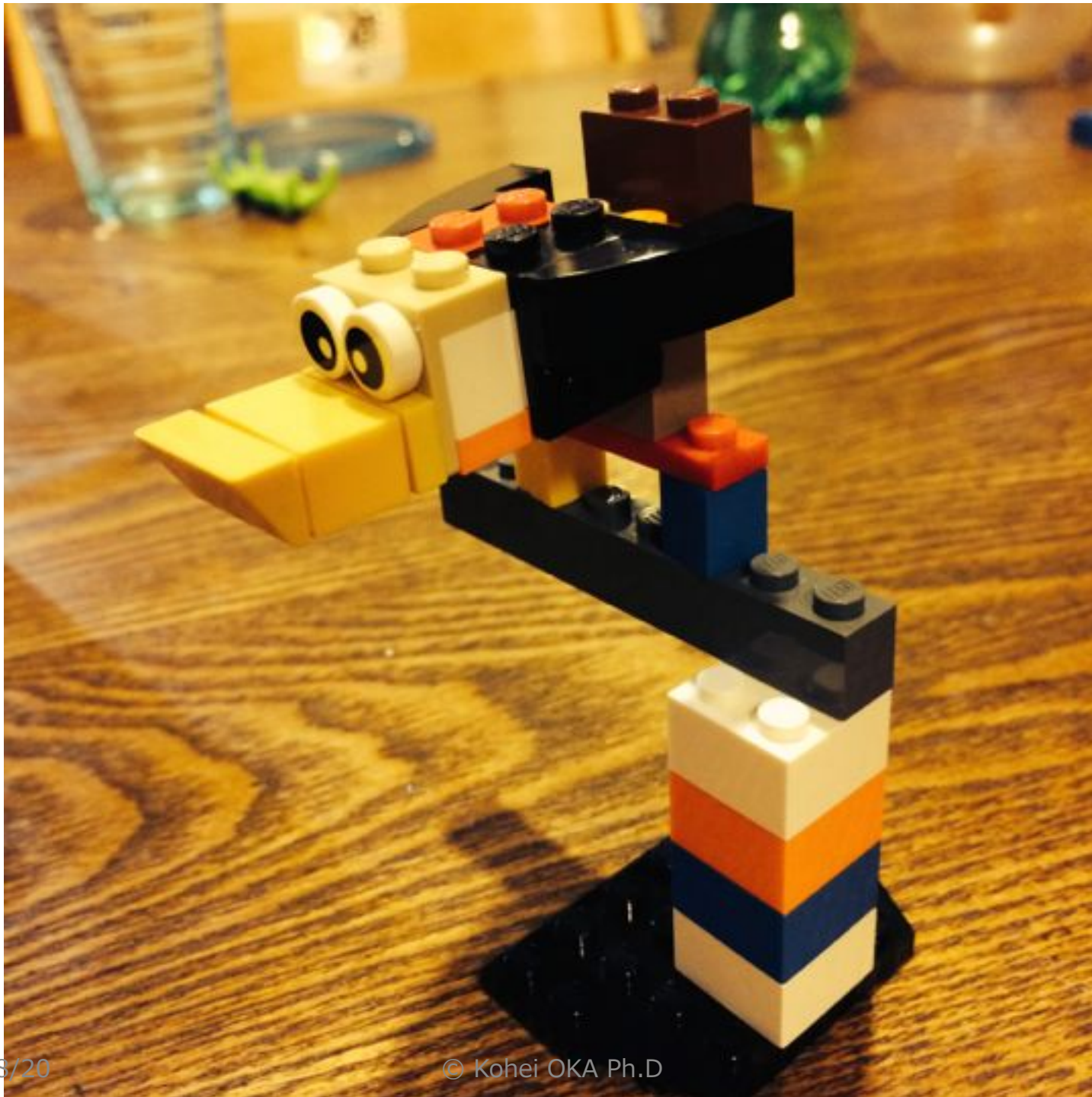
[9]



2014/08/20

© Kohei OKA Ph.D

9



機械側を調整しながら 子どもの「読む」能力と特性を探る

人間側

- 図地の分離
- 形状の知覚
- 形状の意味の認知
 - 記憶との照合
- 単語の理解
- 文法の理解
- 文脈の理解

機械側

- 表示
 - 拡大縮小
 - 行間
 - 文節分かち書き
 - ハイライト
 - 明暗反転
- 音声読み上げ
 - 話速調整
 - ピッチ調整
 - 音声性別

まとめ

- タブレット端末は手段のひとつ。重要なのは目的。
- 「誰に、何のために、何を使うのか」有効性の理由を記述する必要がある。
- アプリの使い勝手よりも、アプリを使った結果その人がどう変化したか、記録のとり方が重要。
- 試行錯誤をしながら、なぜこの機能・操作がその人の困難を解消するのか確認する。
- 「失敗」の分析が役立つ。この情報が「引き継ぎ」を可能にし、配慮の合理性の裏付けになる